

# ツキノワグマと共に暮らすための安全ガイド

*A guide for living safely with bears in Karuizawa*



# 1.はじめに

## クマの棲む森は豊かな森の証なのです

軽井沢の森に棲む賢くイタズラ好きなクマを、胸の模様からスポットと名付け過去3年間その生態を観察してきました。2001年、私たちはスポットを捕らえ薬で安楽死させました。人間が出すゴミの味を覚えてしまったからです。悔しい思いで一杯です。

豊かな森の証であるツキノワグマの生息域は年々減少しています。日本の一部であるこの美しく温厚な動物と私たち人間は平和共存することはできないのでしょうか。私たちはできると信じています。皆さんの協力さえ得ることができれば、クマを殺さなくても人間が安心して生活する環境を維持できると考えています。この冊子はその方法を書いたガイドです。ご一読いただければ幸いです。



## 今、軽井沢のツキノワグマに何が起きているか？

～根本的な問題が解決しない限りクマの問題は解決しない～

- 1) ここ1～2年、軽井沢の街の中で、頻繁にクマによってゴミをあさられるようになりました。  
三笠、離山、旧軽井沢地区、千ヶ滝東区・中区・西区、星野地区、中軽井沢地区など軽井沢町内の至る所のゴミ収集所、家庭にあるコンポストや野外に出している食糧などが荒らされています。
- 2) 軽井沢では過去にクマがゴミを食べに来ていると知りながら、生ゴミの投棄を続けていた人達があり、そこには当時12頭ものクマが餌付いていたことが知られています。近年の市街地、別荘地でのクマによるゴミ箱荒らしの発端と考えられます。
- 3) 本来、クマという動物は非常に温厚かつ臆病です。しかし、鼻が非常に良く、学習能力も高く、執着的であるため、大量にある餌（ゴミ）を目指してやって来ます。大抵の場合、人の気配や姿に気がつく  
とクマの方から逃げていくのですが、ゴミを食べるようになったクマは人に対して突発的な攻撃行動をとることがあります。また、ゴミを食べる習慣は母親から子へと引き継がれていきます。**根本的な問題（人間の食糧やゴミの管理、モラルの問題）が解決しない限り、いくら駆除をしたところで、また新しいクマがやってきます。いつまでたってもゴミに餌付いたクマの突発的な行動による事故は回避できません。**
- 4) クマによる事故は人もクマも不幸な結果になります。危険な行動をとるようになったクマは「駆除（死）」という結末で終止符が打たれます。そのようなことが決してないように私たち住民がクマのことを正しく知り、そして一人一人が食糧やゴミの取り扱いに注意していくことでクマの問題は解決の方向へと向かいます。

## 2. ツキノワグマの生態

### ツキノワグマってどんな動物ですか？

#### ツキノワグマの分布

～絶滅の可能性も～

日本のツキノワグマ (*Ursus thibetanus*) は、本州以南の主に冷温帯の落葉広葉樹林帯を中心に生息しています。全国的にみられる土地開発による生息地の減少や駆除などにより、すでに数が減り、絶滅が心配されています（既に九州地方では絶滅した可能性が高く、四国地方では絶滅寸前です）。



#### 体の大きさと特徴

～臭いに敏感、でも目は悪い!?!～



体重は普通、60 – 80kg で、ここ軽井沢で今まで捕獲された中ではオスで 134kg というクマがいました。頭の先からお尻までの大きさは 110 – 145cm 程度で、体色は雌雄共に全身黒色毛に覆われ、胸部に三日月形の白紋があります（しかし、白紋の形は一様ではありません）。

臭覚が特に良く、臭いで周囲を確認し、食べ物も探しています。

聴覚は人間よりは良く、低い音が比較的聞こえにくく、状況（雨や沢、風の音）によっては、人の気配を感じ取れません。鳴り物（鈴やラジオなど）を携帯したり、声を出さずなどして歩かないと、接近遭遇して非常に危険になる可能性があります。また、視覚はあまり良くありません。

立ち上がる行動をとることがありますが、これは大抵の場合、威嚇行動ではなく、視覚で確認できないものを臭いで察知するためです。



## 性格・身体能力

### ～人より速く走れる～

性格は温厚かつ臆病で、人を避けているので、ほとんど人目に触れることはありません。走ると人間より速く、爪が鋭く、腕の筋肉が発達しており、木登り、穴掘りが非常に上手な野生動物です。また体が柔らかく、頭と同じ位の隙間があれば入り込むことができます。掌には柔らかい肉球が付いており、足の裏全体を地面につけて歩くことから、歩く際に音はほとんどしません。



## 食べ物

### ～植物を中心とした雑食性～

冬眠明けには、食べ物が少なく、昨年落ちたドングリや動物の死骸などを食べています。5月頃になると芽吹いてきた木の芽などを食べます。5月下旬には主にシシウドやアザミなどの草本類、6月中旬になるとアリや蜜蜂などの巣を掘り返して食べます。7月になるとサクラやクワの実、キ



イチゴ類を実りに合わせて食べ始めます。

10月頃からヤマブドウやサルナシなどの果実、ドングリやブナ、栗などを厳しい冬の冬眠に備えて、大量に食べます。



## 繁殖（交尾・出産・子育て）

### ～冬眠中に出産～

交尾期は6～7月です。2月ごろ冬眠穴のなかで、子猫位の大きさの子グマを1～3子出産し、冬眠中に授乳しています。穴から出てくる5月頃には子犬より少し大きめに成長した子グマを連れていきます。子グマは1年～2年母親と一緒にいます。



## 冬眠

### ～12月から4月まで冬眠～

初雪の頃、冬眠穴を探し始め、根雪になる頃冬眠に入ります。樹洞や岩の間、木の根元の穴などを利用して冬眠しています。完全に熟睡するのではなく、人間の気配を感じると目を覚まし、冬眠穴を変えることもあります。



## 3. ゴミはクマを殺します

### クマを凶暴にしてしまう原因はゴミや食糧なのです

ほとんどの場合は彼等の方が人から離れていきます。しかし、彼らが非常に力のある動物であることも決して忘れてはいけません。彼らを凶暴なクマにする原因は私たちのゴミや食糧です。

#### ゴミ熊って何？

人のゴミ（食べ物も含む）は本来のクマの姿を大きく狂わす“もと”なのです。ゴミの味を覚えたクマは“ゴミ熊”と呼ばれています。



#### ゴミ熊への道

ゴミの出し方ひとつで、あなたの行為は餌付けと同様の意味になります。ゴミを食べたクマは頻繁にゴミ箱に現れるようになります。学習能力が高く、執着的なクマは大量にある餌（ゴミ）を目指してやって来るのです（ゴミをクマに食べさせないために、頑丈なゴミ箱とゴミ収集体制の早急な整備が必要です）。

#### ゴミ熊の危険性

大勢の人が活動する昼間に堂々と街なかに出没したり、夜間に暗闇の中でぼったり出会ってしまったたり、最悪の場合にはゴミ袋を持っている人が襲われたり、家屋に侵入するというようなことが起こります。



#### ゴミ熊の行く末は…？

決して人命が損なわれるようなことがあってはなりません。人へ危害を加える可能性があるクマは、どのクマが危険かを確認した上で、殺さざるを得ません（ゴミはクマを殺してしまうのです）。クマによる事故は、人もクマも不幸な結末にしてしまいます。

#### 新たなゴミ熊をつくらない

私たちが心遣いと努力をすることで、クマとよりよい付き合いをしていくことが可能です。クマは臭覚が非常に良い野生動物です。問題は誘引物（ゴミ、食糧）を無くす努力をしていくことです。ゴミや食糧は頑丈で、かつ臭いのもれないように保管すること。ゴミを決められた出し方で、かつマナーに心掛けていくことです。クマが生息する場所では、**周辺住民が協力して**そのような環境を作り上げていく必要があります。

## 4.あなたの安全のために

### クマと出会わないようにすることが一番大事です

被害を回避するためには、「クマを自分たちの周囲に誘引しない」、「クマと出会わない」ことが重要です。出会ってからのことを考えるよりは出会わないためにはどうすればよいかを知り、注意しながら生活するほうが確実です。日常生活の場で、クマと出会わないために、以下の項目を注意してください。

#### 誘引物

(注：これが一番重要です!!)

あなたの生活圏にはクマを誘引する様々なものがあります。

代表的なものが、“家庭ゴミ”です。その中でも生ゴミの取扱いには特に注意が必要です。その他、様々な味のついた袋、中身を洗浄してないビールやジュース缶・ビン・ペットボトル、化粧水や香水のビンなども誘引すると言われています。

“家庭ゴミ”は必ず収集日の朝に出すようにしてください。

夜間は屋内やカギのある堅固な施設内に保管し、決して夜間に家の周りに放置したり、ゴミ捨て場に捨てないようにしてください(軽井沢町にゴミ箱やゴミの収集体制の整備も要望しております)。その他、漬物やコンポスト、蜂の巣などもクマを強く誘引する原因となります。



#### 夜間

～夜間にゴミを求めて徘徊～

夜間の行動はお控えください。特に、夜間にゴミを捨てに行くことはクマとの遭遇のリスクを高めます。ゴミに餌付いたクマは夜間に街なかを徘徊することが多く、ばったり遭遇すると非常に危険です(もし行動される場合、鈴やベル、ラジオなどの鳴り物を携帯することをお勧めします)。

#### 悪天候の日

～お互いに存在に気づかない～

雨や風の強い日、霧の濃い日はご注意ください。本来は、人の臭い、歩く音や姿をクマの方が先に察して、彼らから離れていきます。しかし、このような日は人の気配をクマが感じにくく、クマと近距離で出くわす恐れがあります(もし行動される場合、鈴やベル、ラジオなどの鳴り物を携帯することをお勧めします)。

#### 犬の散歩

～クマを興奮させることもある～

犬の散歩はご注意ください。犬はクマの存在を察知するには効果的ですが、クマを興奮させてしまうことがあるのでご注意ください。特に手綱を放すのは大変危険ですのでお控えください。

## 5.クマに出会ってしまったら

### クマと出会ったら…決してあせらず、その場を立ち去る

ツキノワグマと共存していく上で、最も大切なことは今までお話してきた通り、彼らと「出会わないこと」、「誘引しないこと」です。でもここ軽井沢はツキノワグマの生息域です。注意していても出会ってしまうことはあります。そんな時はどうすればいいのでしょうか。

#### 慌てない

#### ～人がパニックになるとクマもパニックになります～

決して慌てないでください。遠方にクマがいる場合は、ほとんど問題ありません。速やかにその場所を立ち去りましょう。クマもあなたの存在に気が付くと大抵の場合、繁みに中に逃げていきます。もし至近距離でクマと出会った場合は、クマから目を離さず（しかし、クマと目を合わせることは、攻撃の合図になるので危険です）、ゆっくりとその場所を離れてください。

#### 走って逃げない

#### ～走って逃げると追ってきます～

騒ぐとクマを刺激します。また、逃げるものを追う習性があり、走って逃げるのは非常に危険です。クマはあなたよりずっと速く走れます。またクマが立ち上がっている時、大抵の場合は攻撃しようとしているのではなく、周囲をうかがいあなたが何者か確かめようとしているのです。やさしく声をかけ、ゆっくり大きく手を振って、あなたの存在を教えて、ゆっくりとその場を離れて下さい。

#### 近付かない

クマに近づくのは非常に危険です。彼らは力の強い野生動物であって、ペットではありません。また、写真を撮るのも危険です。フラッシュがクマを興奮させるかもしれません。

#### クマが接近し攻撃してきたら

人の弱点である顔面、のど、後頭部、腹部を守る姿勢をとりましょう。ほとんどの攻撃行動はクマが自分の身を守るためなので短時間で終わります。



襲われた時の安全姿勢

(Herrero 1985)

#### 子グマには注意して！

#### ～子グマの近くには母グマあり～

母親が子供を思う気持ちは強く、母グマは子グマの危険を感じ、あなたに向かってきます。**写真の撮影は厳禁、子グマに接近するのは自殺行為です。**子グマのみ、もしくは子連れのカマを見つけたら、速やかにその場所から立ち去りましょう。

ツキノワグマの目撃情報・対策等のお問い合わせは、軽井沢町（担当：農林課 0267-45-8572）  
星野リゾート ピッキオ（担当：小山・田中 0267-46-3818）まで。

# ツキノワグマと共に暮らすための安全ガイド

*A guide for living safely with bears in Karuizawa*

## ピッキオが行うツキノワグマ対策

### 【活動背景】

軽井沢町内でのツキノワグマの調査は「軽井沢ワイルドフォレスト」のボランティア活動に星野リゾートピッキオが協力する形で進められてきました。自然との共存を目指す軽井沢町としての本格的なツキノワグマ対策を推進していくため、2000年度の下半期よりツキノワグマの被害防除と保護管理のための調査・対策事業が開始されました。ピッキオはその業務委託を受けています。

### 【ピッキオの理念と活動】

軽井沢という一つの地域生態系の保全を目指し、この地に住む人間と野生動植物が共存するために活動しています。軽井沢にとって重要な自然環境を残していくための科学的な活動を行っています。そのために調査・提案・対策・啓蒙活動を行っています。

### 【ピッキオのツキノワグマ対策】

現在は人の生活圏にクマがやってくる根本的な原因であるゴミに対する対策、さらにゴミに誘引されたクマの捕獲やお仕置き放獣、また現在電波発信器が装着されている7頭のクマ1頭1頭の行動範囲やゴミの依存度の把握、クマの生息地に暮らす人々への啓蒙活動などを行っています。日本におけるクマを取り巻く現状は、クマが出没すれば、すぐに駆除（殺す）することがほとんどです。人間社会においても、犯罪を起こした人を逮捕する際には綿密な捜索と情報により行われます。クマも同じであり、**すべてのクマが被害を出しているわけではありません**。問題解決のためには綿密な個体のモニタリング（個体管理）をしっかりと行い、加害個体を特定し対処していく必要があります。

### 【将来の展望】

将来的には、ツキノワグマの追払いやお仕置き放獣の際に、銃によるゴム弾（痛みを覚えさせる）や花火弾（爆音で威嚇する）の発砲や訓練されたクマ対策犬（怖さ）の導入といったオプションを取り入れ、人里へ出没し、ゴミに依存してしまった人馴れしたクマのリハビリも行っていく予定です。既にこのような対策は北海道の知床国立公園内でのヒグマ対策で行われており、人とクマとの軋轢を防止することに効果をあげています。

## 私たちの心がけひとつで、クマの問題は解決します



無断転載を禁ずる

作成: 田中純平・南正人・小山克・樋口洋  
写真: 中村匡男・小山克  
後援: 軽井沢ワイルドフォレスト  
発行: 株式会社 ピッキオ ワイルドライフリサーチセンター  
〒389-0194  
長野県北佐久郡軽井沢町星野  
軽井沢野鳥の森 ピッキオビジターセンター内  
TEL & FAX 0267-46-3818

### 軽井沢ワイルドフォレスト

軽井沢ワイルドフォレストは、どんぐり運動の会など軽井沢原生の豊かな自然と保護・再生するプロジェクトを行っているボランティア団体の集まりです。